

平成21年度

決算の概要

姫路市

目 次

1. 一般会計	1
ア 対前年度比較(総括)	1
イ 構成比	2
ウ 対予算比較(款別)	3
2. 特別会計	5
3. 企業会計	6
4. 基金・地方債	7
5. 財政健全化指標	8
6. 普通会計財政分析表	9

1 一般会計

姫路市の平成21年度決算は、一般会計の歳入が2,195億6,504万2千円、歳出が2,102億9,499万円で、形式収支は92億7,005万2千円、ここから翌年度への繰越財源36億1,270万6千円を差し引いた実質収支は56億5,734万6千円となり、昭和43年度以来42年連続の黒字となりました。

(単位 千円)

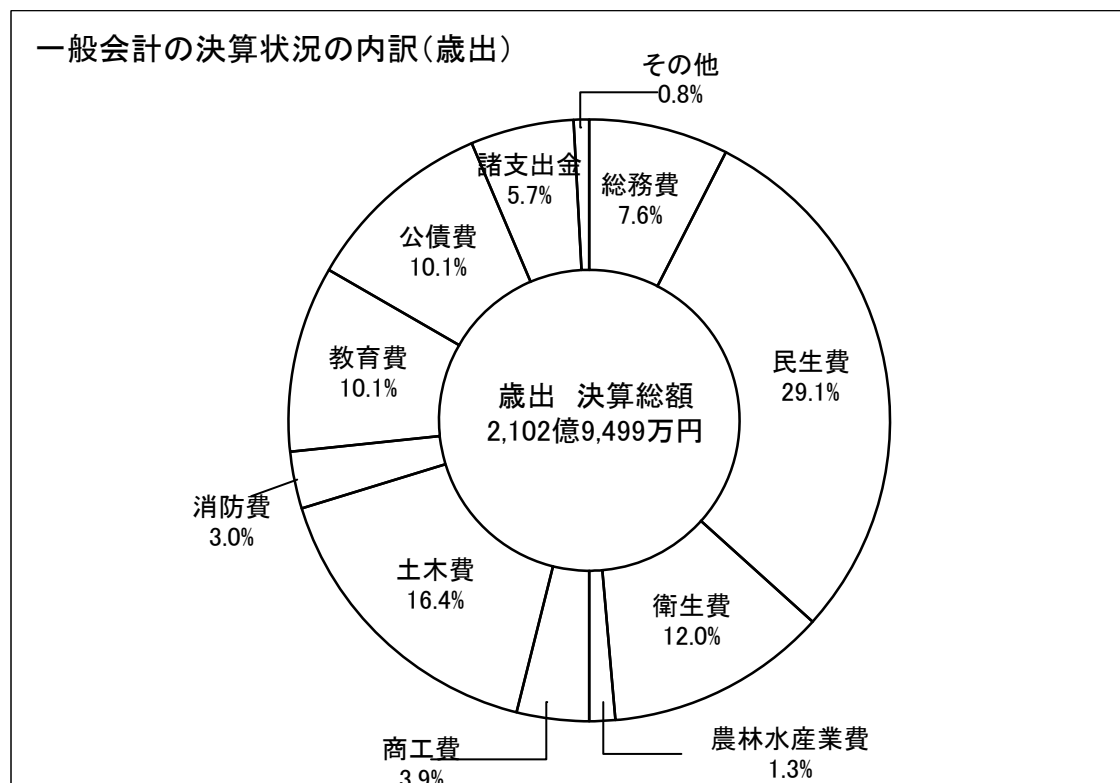
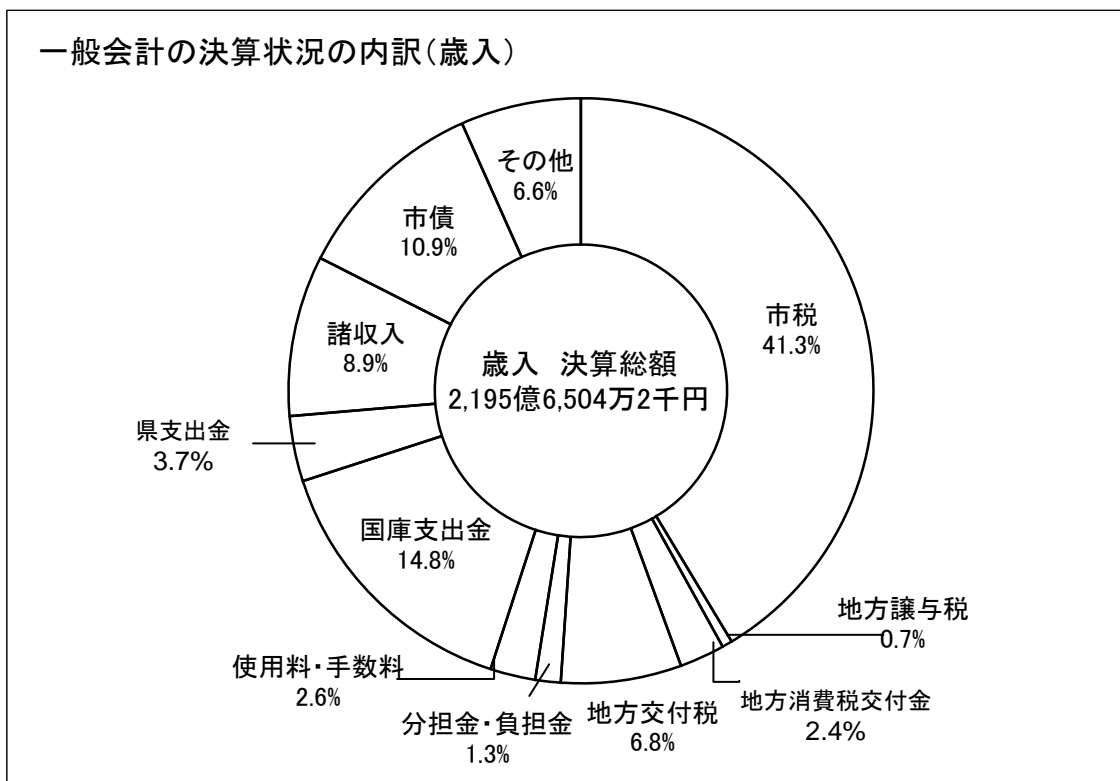
区分	歳入決算額	歳出決算額	形式収支	繰越財源	実質収支
一般会計	219,565,042	210,294,990	9,270,052	3,612,706	5,657,346

ア 対前年度比較 (総括)

(単位 百万円、%)

事項	21		20		比較	
	決算額	執行率	決算額 F	執行率	金額 G	増減率 G/F
歳入 A	219,565	92.3	206,426	87.9	13,139	6.4
歳出 B	210,295	88.4	195,570	83.3	14,725	7.5
形式収支(A-B) C	9,270	/	10,856	/	△ 1,586	△ 14.6
繰越財源 D	3,613	/	5,570	/	△ 1,957	△ 35.1
実質収支(C-D) E	5,657	/	5,286	/	371	7.0
翌年度への繰越額	12,972	93.9	25,875	94.3	△ 12,903	△ 49.9

イ 構成比



ウ 対予算比較（款別）

（歳入）

（単位 千円、％）

款名	予算現額	調定額	決算額	不納欠損額	収入未済額	執行率
市税	93,000,000	96,720,699	90,585,965	334,803	5,799,931	97.4
地方譲与税	1,600,000	1,591,079	1,591,079			99.4
利子割交付金	370,000	330,632	330,632			89.4
配当割交付金	190,000	160,696	160,696			84.6
株式等譲渡所得割交付金	80,000	64,709	64,709			80.9
地方消費税交付金	5,200,000	5,340,456	5,340,456			102.7
ゴルフ場利用税交付金	90,000	97,081	97,081			107.9
自動車取得税交付金	540,000	562,429	562,429			104.2
国有提供施設等 所在市助成交付金	7,354	7,386	7,386			100.4
地方特例交付金	1,090,000	1,119,158	1,119,158			102.7
地方交付税	10,800,000	14,992,829	14,992,829			138.8
交通安全対策特別交付金	132,000	125,657	125,657			95.2
分担金・負担金	3,270,728	3,004,940	2,926,426	4,314	74,200	89.5
使用料・手数料	5,914,477	5,852,650	5,717,787	639	134,224	96.7
国庫支出金	39,483,758	38,717,199	32,468,880		6,248,319	82.2
県支出金	8,892,587	8,291,934	8,047,497		244,437	90.5
財産収入	1,031,014	533,341	532,360		981	51.6
寄附金	177,834	324,959	324,959			182.7
繰入金	989,209	265,824	265,824			26.9
繰越金	10,055,677	10,855,677	10,855,677			108.0
諸収入	20,072,521	20,272,331	19,584,823	15,822	671,686	97.6
市債	34,895,900	23,862,732	23,862,732			68.4
合計	237,883,059	233,094,398	219,565,042	355,578	13,173,778	92.3

(歳出)

(単位 千円、%)

款名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	現年度執行率	繰越を含めた執行率
議会費	1,021,845	981,557		40,288	96.1	96.1
総務費	17,574,108	16,018,387	366,685	1,189,036	91.1	93.2
民生費	63,680,964	61,151,716	364,989	2,164,259	96.0	96.6
衛生費	28,577,291	25,202,589	1,637,221	1,737,481	88.2	93.9
労働費	807,780	752,434	40,000	15,346	93.1	98.1
農林水産業費	3,681,563	2,652,837	739,008	289,718	72.1	92.1
商工費	8,772,213	8,295,544	49,500	427,169	94.6	95.1
土木費	45,322,060	34,481,161	6,284,767	4,556,132	76.1	89.9
消防費	6,816,260	6,251,398	255,350	309,512	91.7	95.5
教育費	26,932,295	21,255,400	3,234,222	2,442,673	78.9	90.9
災害復旧費	9,421	8,696		725	92.3	92.3
公債費	22,271,169	21,228,965		1,042,204	95.3	95.3
諸支出金	12,254,608	12,014,306		240,302	98.0	98.0
予備費	161,482			161,482		
合計	237,883,059	210,294,990	12,971,742	14,616,327	88.4	93.9

2 特別会計

平成21年度特別会計の決算について、14特別会計合計では、歳入が1,216億6,252万8千円、歳出が1,145億7,473万8千円で、形式収支70億8,779万円、翌年度への繰越財源3,415万円を差し引いた実質収支は70億5,364万円の黒字となりました。会計別では、集落排水事業特別会計、老人保健医療事業特別会計及び駐車場事業特別会計で赤字決算となっております。

(単位 千円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	形式収支	繰越財源	実質収支	不納欠損額	収入未済額	一般会計繰入金
中央卸売市場事業	995,588	877,890	117,698		117,698		4,071	329,925
下水道事業	26,963,151	26,929,001	34,150	34,150	0	25,105	694,449	12,874,002
水洗便所普及奨励事業	31,387	27,694	3,693		3,693		7,937	1,664
集落排水事業	764,912	769,368	△ 4,456		△ 4,456		5,207	481,991
食肉センター事業	148,073	132,050	16,023		16,023			89,959
母子・寡婦福祉資金貸付	96,700	51,904	44,796		44,796		40,770	13,717
国民健康事業勘定	56,624,866	51,060,788	5,564,078		5,564,078	706,667	2,427,206	3,808,201
保険事業直営診療施設勘定	346,637	239,478	107,159		107,159			
介護保険事業	30,282,039	28,223,500	2,058,539		2,058,539	108,192	269,499	3,936,013
老人保健医療事業	131,598	136,378	△ 4,780		△ 4,780			1,033
後期高齢者医療事業	4,758,481	4,649,844	108,637		108,637		41,989	920,103
奨学学術振興事業	21,458	21,458	0		0			
財政健全化調整	69,496	69,409	87		87			
駐車場事業	423,746	1,381,580	△ 957,834		△ 957,834			268,631
土地取得	4,396	4,396	0		0			
合計	121,662,528	114,574,738	7,087,790	34,150	7,053,640	839,964	3,491,128	22,725,239

対前年度比較（総括）

(単位 百万円、%)

事項	21		20		比較	
	決算額	執行率	決算額 F	執行率	金額 G	増減率 G/F
歳入 A	121,663	97.1	131,372	92.4	△ 9,709	△ 7.4
歳出 B	114,575	91.5	125,659	88.3	△ 11,084	△ 8.8
形式収支(A-B) C	7,088	/	5,713	/	1,375	24.1
繰越財源 D	35		6		29	483.3
実質収支(C-D) E	7,053		5,707		1,346	23.6
翌年度への繰越額	1,077	90.2	1,897	89.7	△ 820	△ 43.2
実質収支の赤字会計 (億円)	集落排水	△ 0.1	集落排水	△ 0.2		
	老人保健	△ 0.1	老人保健	△ 0.9		
	駐車場	△ 9.6	駐車場	△ 10.4		

3 企業会計

平成21年度企業会計決算では、4会計全てが黒字となりました。
なお、交通事業会計は平成21年度をもって事業を廃止しました。

(1) 水道事業

(単位 千円)

区分	収益的収支			資本的収支		
	収入	支出	収支	収入	支出	過不足
予算額(A)	10,228,001	10,121,137	106,864	2,944,360	5,768,189	△ 2,823,829
決算額(B)	9,777,256 (9,326,295)	9,467,023 (9,104,444)	310,233 (221,851)	2,045,396 (2,034,408)	5,227,240 (5,127,870)	△ 3,181,844 (△ 3,093,462)
(A)-(B)	450,745	654,114	△ 203,369	898,964	540,949	358,015

(注) 決算額(B)欄の()内は、消費税及び地方消費税を除く額

(2) 交通事業

(単位 千円)

区分	収益的収支			資本的収支		
	収入	支出	収支	収入	支出	過不足
予算額(A)	992,171	992,009	162	116,962	612,734	△ 495,772
決算額(B)	986,047 (965,934)	798,004 (774,399)	188,043 (191,535)	173,733 (170,221)	612,434 (612,434)	△ 438,701 (△ 442,213)
(A)-(B)	6,124	194,005	△ 187,881	△ 56,771	300	△ 57,071

(注) 決算額(B)欄の()内は、消費税及び地方消費税を除く額

(3) 都市開発整備事業

(単位 千円)

区分	収益的収支			資本的収支		
	収入	支出	収支	収入	支出	過不足
予算額(A)	880,088	879,173	915		1,825,214	△ 1,825,214
決算額(B)	575,067	572,353	2,714		1,286,219	△ 1,286,219
(A)-(B)	305,021	306,820	△ 1,799		538,995	△ 538,995

(注) 課税取引がないため消費税及び地方消費税なし

(4) コミュニティ・プラント事業

(単位 千円)

区分	収益的収支			資本的収支		
	収入	支出	収支	収入	支出	過不足
予算額(A)	1,010,139	995,096	15,043	525,579	1,091,045	△ 565,466
決算額(B)	949,131 (935,804)	908,339 (872,823)	40,792 (62,981)	525,278 (525,278)	1,084,444 (1,084,386)	△ 559,166 (△ 559,108)
(A)-(B)	61,008	86,757	△ 25,749	301	6,601	△ 6,300

(注) 決算額(B)欄の()内は、消費税及び地方消費税を除く額

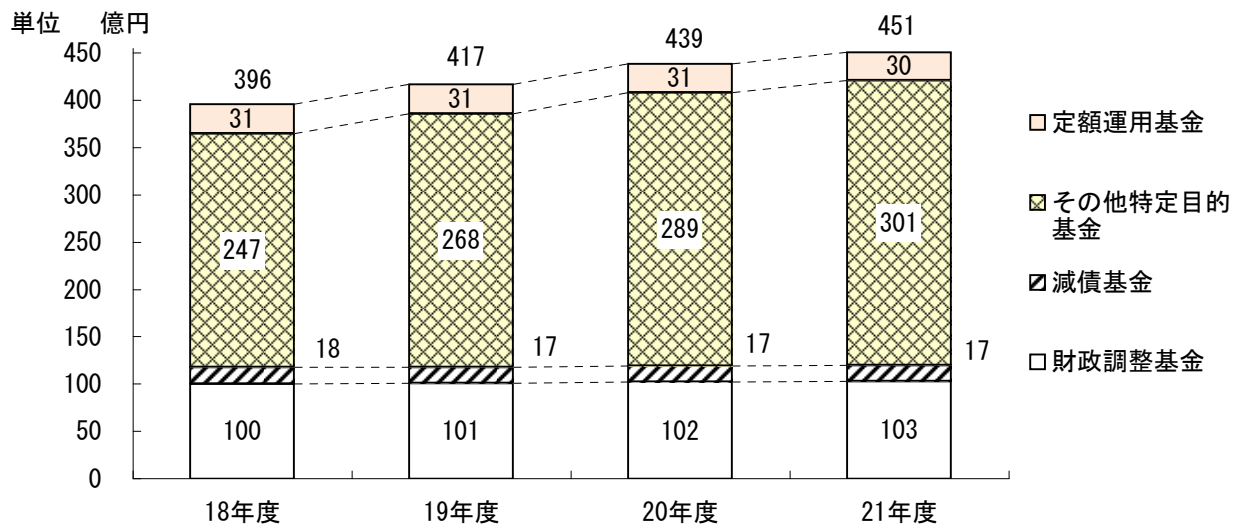
4 基金・地方債

(1) 基金年度末現在高の推移(平成18年度～21年度)

基金の21年度末現在高は450億5,471万5千円で、前年度と比べ11億5,268万6千円の増となりました。

(単位 千円)

区 分	18年度末	19年度末	20年度末	21年度末	21-20増減額
財政調整基金	10,043,045	10,127,201	10,216,477	10,289,234	72,757
減債基金	1,769,820	1,666,363	1,680,621	1,690,435	9,814
その他特定目的基金	24,722,250	26,839,929	28,889,313	30,073,032	1,183,719
定額運用基金	3,104,862	3,110,214	3,115,618	3,002,014	△ 113,604
合 計	39,639,977	41,743,707	43,902,029	45,054,715	1,152,686
市民一人あたり	74	78	82	84	

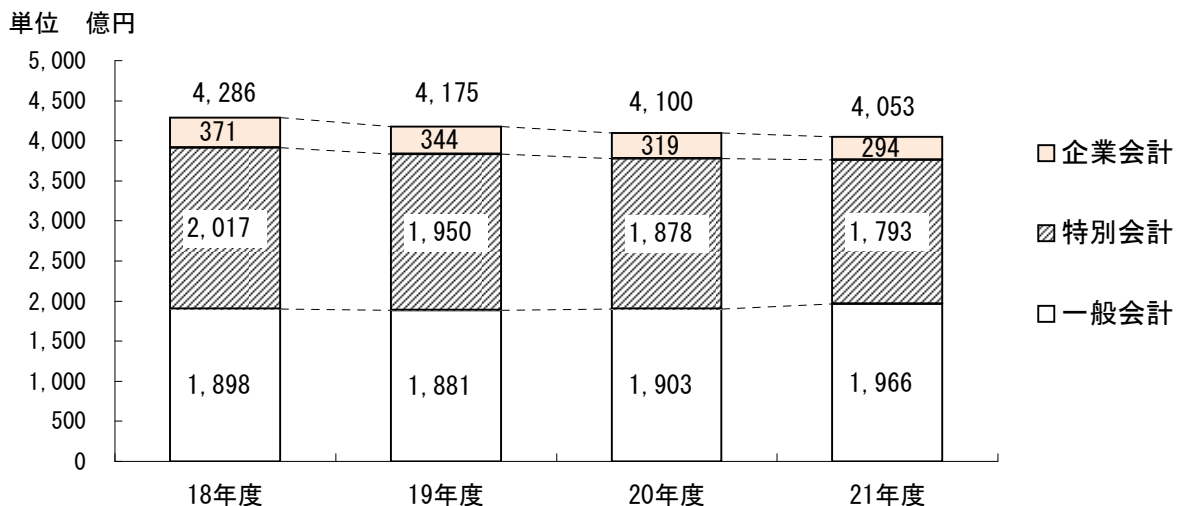


(2) 地方債年度末現在高の推移(平成18年度～21年度)

全会計の地方債の21年度末現在高は4,053億2,382万4千円で、前年度と比べ46億2,664万5千円の減となりました。

(単位 千円)

区 分	18年度末	19年度末	20年度末	21年度末	21-20増減額
一般会計	189,841,894	188,091,077	190,309,722	196,575,099	6,265,377
特別会計	201,674,423	194,968,171	187,780,153	179,289,109	△ 8,491,044
企業会計	37,085,834	34,450,691	31,860,594	29,459,616	△ 2,400,978
合 計	428,602,151	417,509,939	409,950,469	405,323,824	△ 4,626,645
市民一人あたり	804	783	768	760	



5 財政健全化指標

【健全化判断比率】

(単位 %)

分析項目	21年度	20年度	早期健全化基準	財政再生基準	説明
実質赤字比率	— (△4.96)	— (△4.63)	11.25	20.00	普通会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率 (算式) $\frac{\text{一般会計等の実質赤字額}}{\text{標準財政規模}} \times 100$
連結実質赤字比率	— (△18.87)	— (△17.57)	16.25	40.00	全会計を対象とした実質赤字(又は資金不足額)の標準財政規模に対する比率 (算式) $\frac{\text{連結実質赤字額}}{\text{標準財政規模}} \times 100$
実質公債費比率 ()内は単年度の実質公債費比率	10.9 (10.0)	11.2 (11.1)	25.0	35.0	全会計に一部事務組合等を加えた会計が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率 (算式) $\frac{(\text{地方債の元利償還金} + \text{準元利償還金}) - (\text{特定財源} + \text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}{\text{標準財政規模} - \text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額}} \times 100$ の3年度間の平均値
将来負担比率	103.7	102.5	350.0		地方公社・第三セクター等を含む会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率 (算式) $\frac{\text{将来負担額} - (\text{充当可能基金額} + \text{特定財源見込額} + \text{地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額})}{\text{標準財政規模} - \text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額}} \times 100$

※総務省提出数値による

※実質赤字額及び連結実質赤字額がないため「—」となるが、算式の結果を「△」で表示

※標準財政規模は、臨時財政対策債発行可能額を加えた額

【資金不足比率】

(単位 %)

分析項目	21年度	20年度	経営健全化基準	財政再生基準	説明
資金不足比率 【法適用企業】 (水道事業会計) (交通事業会計) (都市開発整備事業会計) (コミュニティ・プラント事業会計)	— (△39.6) (△10.2) (△64.4) (△304.7)	— (△39.3) (△32.4) (△61.7) (△289.8)	20.0		公営企業ごとの資金の不足額の事業の規模に対する比率 (算式) 【法適用企業】 $\frac{\text{資金の不足額}((\text{流動負債} + \text{建設改良費等以外の経費の財源に充てるために起こした地方債の現在高} - \text{流動資産}) - \text{解消可能資金不足額})}{\text{事業の規模}(\text{営業収益の額} - \text{受託工事収益の額})} \times 100$
【法非適用企業】 (中央卸売市場事業特別会計) (下水道事業特別会計) (集落排水事業特別会計) (食肉センター事業特別会計)	(△28.9) (0) (0) (△30.6)	(△29.9) (0) (0) (△7.4)			【法非適用企業】 $\frac{\text{資金の不足額}((\text{繰上充用額} + \text{支払繰延} \cdot \text{事業繰越} + \text{建設改良費等以外の経費の財源に充てるために起こした地方債の現在高}) - \text{解消可能資金不足額})}{\text{事業の規模}(\text{営業収益に相当する収入の額} - \text{受託工事収益に相当する収入の額})} \times 100$

※総務省提出数値による

※対象会計は資金不足がないためすべて「—」となるが、算式の結果を「△」で表示

6 普通会計財政分析表

(単位 %)

分析項目	21年度	20年度	19年度	算 式
財政力指数 ()内は単年度の財政力指数	0.889 (0.860)	0.897 (0.893)	0.881 (0.915)	$\frac{\text{単年度財政力指数}}{\left(\frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}} \right)}$ の3年度間の平均値
経常一般財源比率	100.0	100.7	99.1	$\frac{\text{経常一般財源総額}}{\text{標準財政規模}} \times 100$
経常収支比率	85.3	84.5	85.5	$\frac{\text{経常経費充当一般財源}}{\text{経常一般財源総額}} \times 100$
実質収支比率	5.0	4.6	5.0	$\frac{\text{実質収支額}}{\text{標準財政規模}} \times 100$
公債費比率	11.0	11.3	11.7	$\frac{\text{地方債元利償還充当一般財源} - \text{災害復旧費等に係る基準財政需要額算入公債費}}{\text{標準財政規模} - \text{災害復旧費等に係る基準財政需要額算入公債費}} \times 100$
起債制限比率 ()内は単年度の起債制限比率	9.0 (8.9)	9.2 (9.1)	9.5 (8.9)	$\frac{\text{地方債元利償還充当一般財源} - \text{災害復旧費等に係る基準財政需要額算入公債費} - \text{事業費補正に係る基準財政需要額算入公債費}}{\text{標準財政規模} - \text{災害復旧費等に係る基準財政需要額算入公債費} - \text{事業費補正に係る基準財政需要額算入公債費}} \times 100$ の3年度間の平均値

※総務省提出の地方財政状況調査による

※標準財政規模は、臨時財政対策債発行可能額を加えた額

※経常一般財源総額は、臨時財政対策債を加えた額